

おいでよ!地島に 漁村留学 をしてみませんか!

平成29年度（第15期）

「漁村留学生」募集のご案内

あなたは、海は好きですか？魚は好きですか？小鳥は好きですか？もしそうなら、澄み切った青い海と空、緑の森に包まれた美しい島、ここ地島で漁村留学をしてみませんか？

そこには、慈愛に満ちた人情味あふれる島の人々（昔は「慈島」とも言われていたそうです。）との出会い、素晴らしく美しい自然との出会いが皆さんを待っています。

来年で15年目を迎える漁村留学での、豊かな大自然、島の人々との心温まるふれあいを通して、子ども達は自然や地域、そして家族への思いやりの心を育むことができると思います。さらに、協同生活体験を通して親への感謝の気持ちが深まり、ものの大切さを学び、たくましく、そして、自立する力を身に付けることができるでしょう。

留学に関する募集要項、島や学校の様子等を以下に記載していますのでご一読ください。心よりお待ちしております。

《募集要項》

1 受け入れの条件

- (1) 体験を通して自立性を養おうとする健康な4・5・6学年（H29年度）の男女児童
- (2) 児童（本人）、保護者の双方が漁村留学の趣旨をよく理解し、熱意があること

2 募集人員 5～6名程度

3 留学期間 1カ年（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

4 委託料

- 生活費として毎月4万円程度
- 他に各学期3万5千円程度（学校教材・給食費2万5千円程度、医療・お小遣い等1万円程度）

5 募集期間 平成28年10月1日（土）～平成28年12月22日（木）

6 説明会 平成29年1月14日（土）予定 ※会場：宗像市立地島小学校

- 地島小学校や「なぎさの家」（漁村留学センター）等の現地見学
- 漁村留学に関する説明及び個別面談等

7 応募方法 右記「漁村留学を育てる会」事務局、または地島小学校までお電話ください。 受付後、詳しい資料等を郵送またはFAXします。

8 選考方法 応募者の多少に関わらず、選考委員会による厳正な選考の上、決定します。

主催 地島校区漁村留学を育てる会 後援 宗像市教育委員会

《 宗像市と地島の紹介 》

宗像市は福岡市と北九州市のほぼ中間に位置し、玄界灘に面した、文化や経済、交通の面において古くから大陸と日本を結んでいる要所です。29年度に世界文化遺産登録をめざす沖ノ島をはじめ、宗像大社、鎮国寺など歴史的な史跡も多く存在します。

地島は玄界灘と響灘の境に浮かぶ周囲9キロメートルの東西に長い島で、四季折々の鮮やかな色彩を写す山々があり、メジロ、ホトトギス、ウグイス、キジなど、鳥の宝庫でもあります。また、島内各所には約6000本のヤブ椿が自生し、春には美しい花を咲かせます。

現在、島の人口は約160名で、泊、白浜の2集落があり、ほとんどの世帯が漁業に従事しています。



《 地島小学校の紹介 》

泊港で市営渡船を降り、四季折々の草花あふれる県道を歩くこと約15分のところに、島で唯一の学校、地島小学校があります。平成28年度は複式2・単式1の計3学級、児童数12名（漁村留学児童5名〈男子3名、女子2名〉を含む）、職員数10名の小さな学校です。（平成28年10月1日現在）

学校の特色は、地島の自然・文化に学ぶ総合的な学習（海と関わる・椿と関わる・島の文化と関わる）です。これら多くの体験を、確かな学力を保障するための徹底した少人数授業及び個別指導に生かしていきます。学校では、地域・PTAとともに、下の写真のような、島ならではの楽しい行事のほか、子ども達に豊かな自然・社会体験（魚釣り、魚さばき、地域交流等）を支援するための、多種多様な活動を行っています。

また、本土の玄海中学校、玄海小学校、玄海東小学校とともに、「玄海学園」の一員として小中一貫教育を推進し、9年間を見通した子どもの育成や様々な交流活動を行っています。



《 漁村留学センター「なぎさの家」の紹介 》

泊港からすぐのところ、漁村留学センター「なぎさの家」があります。ここでは、子ども達のお世話をする指導員、寮母さんと一緒に、寝食をともにした協同生活を行います。「自分で出来ることは自分で、自分達で出来ることは自分達で」を基本方針にすえた規則正しい生活をしています。

応募・お問い合わせ先

「地島校区漁村留学を育てる会」事務局（なぎさの家）

○ 所在地 〒811-3511 宗像市地島136-13

○ TEL・FAX 0940-62-3394

※留守の場合及び昼間 宗像市立地島小学校（教頭まで）

○ TEL 0940-62-1171 FAX 0940-62-1911

